

建設キャリアアップシステム

「有効就業履歴率算定ツール」 活用マニュアル



- CCUSの大きなメリットである**デジタル化による効率化**を享受するには、**適正な運用が必須**です。
 - 適正な運用のポイントは、現場登録後、現場に入場する技能者はすべて、**施工体制登録の上、施工体制技能者登録**にて、その現場ではどういう**職種・立場**で就業するのかを登録しておくことです。（**所属**は施工体制登録時点で登録される）
 - 現場運用段階では、月に一度で良いので、災害防止協議会等関係下請負人が集まる機会に、蓄積された**就業履歴（月別カレンダー）**で**所属事業者欄・職種欄が表示されていることを確認**してください。
 - もし、職種欄（所属事業者欄）が表示されない履歴が見つかった場合は、当該下請事業者に伝え、**施工体制技能者登録が登録されれば、当月と更に1か月遡って、登録した内容で補正**されます。
- 特に**職種欄が表示されている履歴を「有効就業履歴」として、その現場で蓄積された「全就業履歴数」に対する「有効就業履歴数」の割合：「有効就業履歴率」**を算定するツールを開発しました。
 - 施工各月の**就業履歴一覧（月別カレンダー）を確認し、CSVファイルとして保存し、まとめてこのツールに取込めば**当月前日までの蓄積した**「全就業履歴数」と「有効就業履歴数」、および「有効就業履歴率」**を瞬時に算定します。
 - 多くのモデル工事では**計測日**を設定しますが、その時点でこのツールを使って有効就業履歴率を算定すれば**計測日時点での適正な運用度合いが確認**できます。
 - また、発注者から現場利用料を**費用補助**いただけるケースでは、**現場利用料の根拠資料**を要求されますが、**竣工時点**でこのツールを使えば、その現場で蓄積された**「全就業履歴数」**も算定されますので、PDFファイルで提出すれば、根拠資料として活用いただけます。

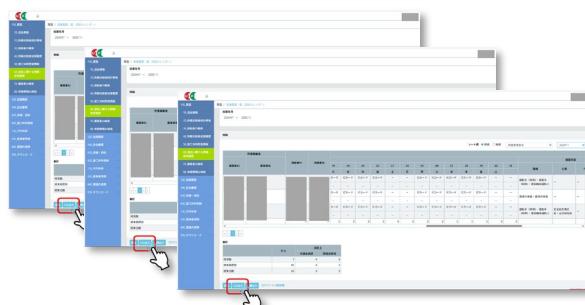
● 概要：有効就業履歴と算定ツールとは？

- **有効就業履歴**とは、就業履歴のうち、**所属事業者欄・職種欄**が表示されていて、**デジタル化のメリットに繋がる就業履歴**のこと。
- 基金では、現場のCCUSが適正な運用となっているかどうかについて、運用の結果である**就業履歴月別カレンダー**を、毎月開催する災害防止協議会等の月次で確認し、不完全な履歴がある場合は、当該下請を指導して是正させる運用を推奨している。
- 当該現場の「**全就業履歴数**」に対する「**有効就業履歴数**」の割合を「**有効就業履歴率**」とし、こうした運用の適正度合いを簡便に算定できるよう、「**有効就業履歴率算定ツール**」を開発した。（3/下旬リリース）
- 竣工時に各月の就業履歴月別カレンダーを再度確認し、画面左下のcsv出力ボタンからデータ出力して、この算定ツールに取込めば簡便に「**全履歴数**」、「**有効履歴数**」と「**有効就業履歴率**」が算定できる。

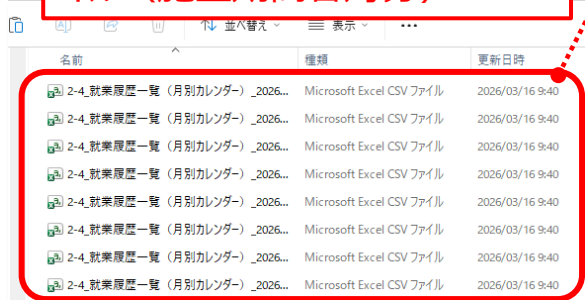
「**就業履歴月別カレンダー**」をCSV出力

算定ツールへ取込み

有効就業履歴率算定表が算出される



就業履歴月別カレンダー.csvファイル（施工期間各月分）



算定ツール



有効就業履歴率算定表



「就業履歴月別カレンダー」をCSV出力

1. OneDrive管下でない場所に
「★有効就業履歴率算定ツール」をコピーしておく
2. ログインメニュー：510_閲覧-60_自社に関する現場・就業履歴 から現場を指定（部分入力して検索）



★有効就業履歴率算定ツールは、(一財)建設業振興基金より配布されるものをデスクトップ等（*ただしOneDrive管下ではない場所）にコピーしておく。



- 3. 下部にヒットした現場から対象現場にチェックを入れ、
- 4. 「**就業履歴（月別カレンダー）**」をクリック

検索結果一覧

住所検索

都道府県: [] 市区町村: []

住所1: []

住所2: []

ソート順: 昇順 降順 デフォルト

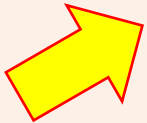
検索 クリア

選択	現場での自社の立場	所属技能者の就業期間		元請事業者		現場				
		(自)	(至)	事業者ID	事業者名	現場ID	現場名	工事区分	工事内容	
									建築物用途	延床面積
<input checked="" type="radio"/>	元請事業者	2021/05/25	2023/03/02				建設キャリアアップシステム試行現場	建築・住宅工事	-	-
<input type="radio"/>	元請事業者	2022/10/07	2024/06/28				キャリアアップ試行現場2	土木工事	その他土木一式工事	その他土木一式工
<input type="radio"/>	元請事業者	2023/02/17	2023/02/21				キャリアアップ試行現場0217	電気・空調衛生・その他工事	-	-
<input type="radio"/>	元請事業者	-	-				キャリアアップ試行現場3	土木工事	-	-

CSV出力 帳票出力 就業履歴（月別集約） **就業履歴（月別カレンダー）** 下位事業者一覧 現場・契約 トップページへ CSVファイル解説書

6. CSVファイルをCCUSシステムから取出す

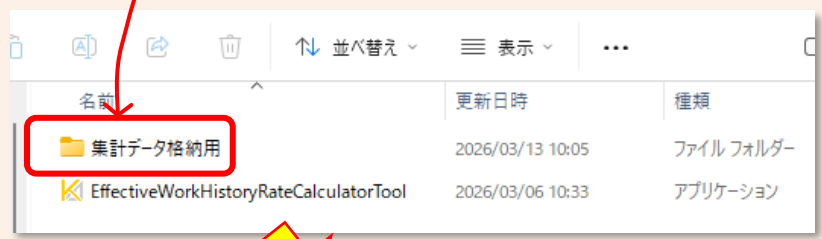
- **全ての月数分csv出力が終わったら、**
- 910_ダウンロード-10 帳票ダウンロードから ➡ 当該帳票の「**ダウンロード**」ボタンを順にクリック



- PCのダウンロードフォルダに格納されるので、➡ 対象月数分あることを確認し、まとめて★有効就業履歴率算定ツール内「**集計データ格納用**」フォルダにコピー



- まとめて★有効就業履歴率算定ツール内「**集計データ格納用**」フォルダにコピー

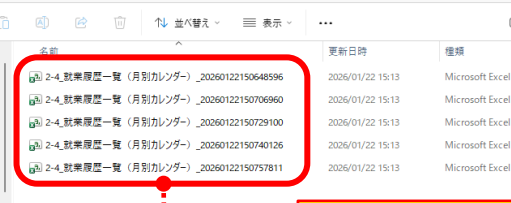


算定ツールの起動



算定ツールへ取込み

有効就業履歴率算定表が算出される



● csvファイルをツールにドラッグアンドドロップ

有効就業履歴率算定ツール

計算方式
 計測日累計方式 計測日完結方式
 ● 計測日のみで算定する場合はこちら

ファイルアップロード
 ここにファイルをドラッグ&ドロップ
 または

工事情報
 請負元
 工事名

着工日 着工日を選択
 竣工日 竣工日を選択

計測日
 計測日1 計測日を選択
 計測日2 計測日を選択
 計測日3 計測日を選択

● 集計ボタンを押す

1. 算定ツールを起動し、格納したCSVファイルを纏めてツール上にドラッグアンドドロップ
 *施工期間をカバーするように決めればよい
2. 着工日、竣工日を入力*したのち、「集計」ボタンを押す。
3. 計測日毎にチェックする場合は、計測日も入力する
4. 集計結果が表示されるので、PDFで出力する

有効就業履歴率算定ツール

元請ID
 元請名
 現場ID
 工事名
 工期 2025/01/01(水) ~ 2026/03/31(火)
 方式 計測日累計方式
 出力日 2026/03/16(月)

就業履歴月別カレンダーの履歴数を串刺し計算しようとすると、全て文字列なので数値への変換が必要、この作業中にフリーズする事象発生を確認しており、現場利用料明細には算定ツールを用いることを推奨。

最終結果	
全就業履歴	1326
有効就業履歴	1315
有効就業履歴率	99.2%

● 竣工日までの累計の「全就業履歴数」「有効就業履歴数」「有効就業履歴率」が表示される

出力方式: PDF Excel

● PDFを指定して「集計結果出力」を押すと指定フォルダに格納される